

# いしかわ

# まちづくり View

ビュー

## No. 53

## 目次

■ 特集	旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備事業	・・・1
■	あのみち、このまち“まちづくりめぐり”	
	(都)北安江八日市線・(都)金石街道線	
	無電柱化事業(広岡～中橋)の完成について	・・・3
	谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館の開館	・・・4
	高浜東部地区 都市再生整備計画事業の完成	・・・5
■	センターだより	・・・6

## 特集

## 旧加賀一の宮駅サイクリングターミナル整備事業



▲ 改修後の旧加賀一の宮駅舎

### 1 はじめに

加賀一の宮駅は昭和2年(1927)に金名鉄道の「神社前駅」として現在地に開設されたのが始まりで、昭和12年(1937)に改称し「加賀一の宮駅」となり、昭和15年(1940)に現在の形の駅舎が完成、昭和18年(1943)には合併により金名鉄道から北陸鉄道の駅となりました。

以降、白山比咩神社の表参道前に位置する駅舎として多くの参拝者や通勤、通学者に利用されてきた駅舎でしたが、平成21年10月末に鶴来駅、加賀一の宮



▲ 廃線後改修前の駅ホーム・線路跡

駅間の廃線により、永年に渡る駅舎としての役割を終えました。その後、地域のランドマークであった駅舎の荒廃・消滅を憂慮する多くの声が上がリ、平成25年12月に北陸鉄道株式会社より白山市が寄附を受け、地域諸団体と共に駅舎の保存活用に向けて検討を重ね、今回の駅舎改修事業が実施されました（令和元年5月31日完成）。

## 2 事業概要

- ・所在地：白山市白山町レ60-1
- ・建物概要：木造2階建、延床98.73㎡
- ・工事内容：曳家（北側に1.8m後ろに5.3m移動）、外装補修、内装改修、トイレ設置
- ・工事経費：約4,000万円



▲ 旧加賀一の宮駅舎鉄道備品等展示コーナー

## 3 施設概要

旧加賀一の宮駅は手取キャニオンロード（一般県道手取川自転車道線）利用者の休憩施設として活用するとともに、鉄道文化遺産としての周知や周辺観光・白山手取川ジオパークなどの情報発信を行います。

- ・供用開始：令和元年7月26日（金）～
- ・開館時間：午前8時30分～午後5時
- ・閉館日：火・木曜、1～3月の平日

## 4 おわりに

駅舎改修工事と同時に周辺整備工事も実施され、駐車場（8台分）と駐輪場（9台分）、横断防止柵などが整備されています。

今後、隣接した古宮公園や近隣の白山比咩神社表参道とあわせ、地域の賑わいの復活が大いに期待されることです。

### 【問い合わせ先】

白山市観光文化スポーツ部施設管理課

TEL：076-272-4800

E-mail：shisetsu@city.hakusan.lg.jp



▲ 旧加賀一の宮駅舎と隣接した手取キャニオンロード

# (都)北安江八日市線・(都)金石街道線 無電柱化事業(広岡～中橋)の完成について

## 1 はじめに

(都)金石街道線は、金沢都心部と金石地区を連結する重要な幹線道路であり、(都)北安江八日市線は金沢駅へのエントランス道路です。また、両道路は、第一次緊急輸送道路にも指定され、防災上も重要な路線です。平成27年の新幹線金沢開業前には沿道に専門学校の開校やマンションの建設などが相次ぎ、歩行者の増加が見込まれる状況となっていました。

しかしながら、道路には電柱・電線があり、歩行空間や沿道景観を阻害していたことから、良好な景観形成と安全・安心で快適な歩行空間の確保を図るため、無電柱化事業に着手しました。

事業実施にあたっては、2つの工区に分けて進め、平成29年7月に「中橋工区」を完成させ、「広岡工区」についても、本年5月に完成しました。

## 2 事業概要

【路線】都市計画道路 北安江八日市線  
 (主要地方道 金沢田鶴浜線)  
 都市計画道路 金石街道線  
 (主要地方道 金沢港線)

【箇所】金沢市中橋町～広岡1丁目地内

【延長幅員】L=700m

うち中橋工区 L=300m (W=30m)

広岡工区 L=400m (W=25m)

【事業期間】平成25年度～令和元年度

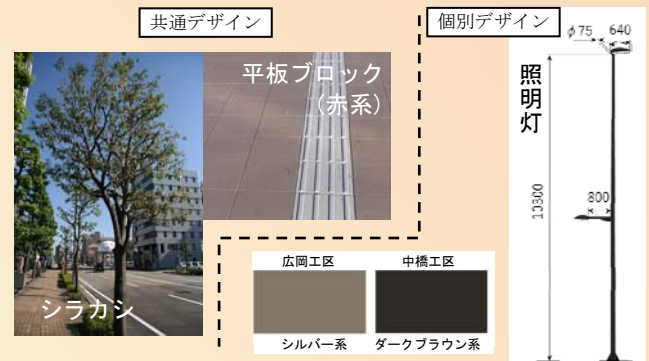
【総事業費】約10億円



▲ 無電柱化整備前後写真 (広岡工区)

## 3 道路修景について

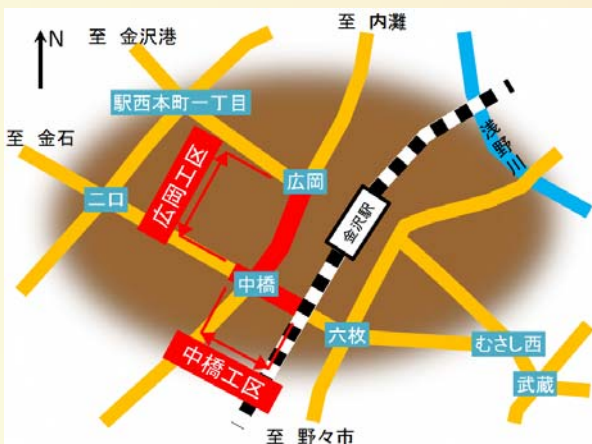
修景デザインを地元のまちづくり協議会で検討し、周辺地域との調和性を重視したものとしました。特に、照明柱の色については、周辺の道路照明と調和を図るため広岡工区ではシルバー、中橋工区ではダークブラウンと、個別のものを採用しています。



▲ 修景デザイン

## 4 おわりに

当該区間の完了により、金沢駅金沢港口周辺の主要な幹線道路の無電柱化が完了し、石川の玄関口にふさわしい景観が整いました。このことにより、金沢駅周辺の更なる賑わいの創出が期待されます。



▲ 位置図

### 【問い合わせ先】

石川県土木部都市計画課

TEL : 076-225-1757

E-mail : toshikei@pref.ishikawa.lg.jp

# 谷口吉郎・吉生記念 金沢建築館の開館

## 1 はじめに

金沢市は、藩政期以降の歴史的建造物や近代建築の保存・活用に加え、魅力的な現代建築がまちに新たな価値を付加している本市の重層的な建築文化を国内外に発信する拠点として、「谷口吉郎・吉生記念金沢建築館」を整備しました。



▲ 外観写真 (写真:北嶋俊治)

## 2 施設のコンセプト

### ① 建築とまちづくりを考える

美しい建築が美しいまちをつくることを考えることができる施設とする。

### ② 金沢市名誉市民第1号の谷口吉郎氏の顕彰

本市の景観まちづくりに尽力した谷口吉郎氏の建築と金沢との繋がり、建築思想を伝える施設とする。

### ③ 建築資料の保存・活用

建築資料の散逸を防ぐこととし、当面は、谷口吉郎・吉生氏の建築資料の収集・整理・保存を主とする。

### ④ 世界に開かれた交流施設

ニューヨーク近代美術館をはじめ、谷口建築の施設等との交流・連携を図る

国立近現代建築資料館や地元大学等との連携を密にした運営を行う。

### ⑤ 洗練された建築意匠

建築自体を展示物として、建築の素晴らしさを体感できる施設とする。

## 3 施設概要

所在地：金沢市寺町5丁目1番18号

敷地面積：2,032㎡ 建築面積：824㎡

延床面積：1,570㎡

施設構成：(地下1階) 企画展示室

(1階) エントランス、ラウンジ

(2階) 常設展示室

(迎賓館赤坂離宮和風別館

「游心亭」の広間・茶室を再現)



▲ 再現された茶室 (写真:北嶋俊治)

## 4 経緯

- ・平成27年4月 建築文化拠点施設整備検討懇話会設置
- ・平成27年11月～平成29年2月 基本・実施設計
- ・平成29年7月～令和元年5月 建設工事
- ・令和元年7月26日 開館

## 5 おわりに

本館の建設に併せ、敷地内に寺町台と犀川沿いの犀星のみちを結ぶ通り抜け通路を整備しました。今回の整備により、寺町界隈の回遊性が向上し、新たな賑わい創出につながることを期待しています。

### 【問い合わせ先】

金沢市都市政策局企画調整課

Tel : 076-220-2031

E-mail : kikaku@city.kanazawa.lg.jp

# 高浜東部地区 都市再生整備計画事業の完成

## 1 はじめに

志賀町は、将来の志賀町を支える若年層の定住人口の確保と人口流出の防止に向けた移住定住を促進するため、町中心部の志賀小学校（平成28年4月開校）に隣接する、高浜町の東部地区において、定住促進住宅地「みらいとうぶ」を整備することとし、平成26年度より開発行為許可申請等の許可を受け、高浜東部地区都市再生整備計画事業に着手しました。

平成27年1月に隣接する都市計画道路福野川尻橋線道路新設工事、同年2月に造成工事Cブロックに着手し、同年12月にCブロック32区画の予約分譲を開始し、平成29年8月に全区画の譲渡契約が成立しました。

平成30年2月にBブロック31区画の予約分譲を開始するとともに、同月にAブロック造成工事に着手し、平成31年1月にAブロック16区画の予約分譲を開始しました。



▲ 位置図

## 2 事業概要

主要な施設の整備概要

工区	開発面積	区画数	付帯施設
Aブロック	7,250㎡	16区画	道路、公園、調整池
Bブロック	14,228㎡	31区画	道路、緑道、公園、調整池
Cブロック	15,836㎡	32区画	道路、緑道、公園、調整池
合計	37,314㎡	79区画	

- ・都市計画道路 福野川尻橋線  
(施工延長 640.0m,幅員 12.0m)
- ・町道 高浜東部団地線  
(施工延長 120.6m,幅員 12.0m)
- ・高浜東部公園  
(整備面積 9,806 ㎡)

## 3 おわりに

当分譲地は、小高い丘陵地に立地しており、地震・津波などに強い住宅環境であり、冬期は道路に消雪施設も整備されていることから、安心・安全で良好な住宅地となっています。

また、町への転入者の方が「みらいとうぶ」に新築して家族で入居されると最大370万円の奨励金があるなど、多彩な助成制度を設け、子育て世代にやさしい町づくりに努めています。

分譲状況は令和元年7月現在、A、Bブロック合わせて残り11区画となり、早期の完売を目指しています。



▲ 外観

### 【問い合わせ先】

志賀町役場まち整備課

TEL : 0767-32-9211 (直通)

E-mail : machiseibi@town.shika.lg.jp

# センターだより

## ～「まちづくり研修会」を開催しました～

### □ まちづくりに必要な視点や考え方を学ぶ

「いしかわまちづくり技術センター」では、住民主体のまちづくり活動への支援やシンポジウム・研修会の開催などにより、まちづくりに関する様々な活動をサポートしています。

今回、その一つである「まちづくり研修会」を開催しましたので、ご報告をさせていただきます。

### □ 開催の概要

- 開催日：令和元年9月6日（金）
- 場 所：石川県直江庁舎4階
- 内 容：【第1部】講演・事例発表（4団体）  
【第2部】ワークショップ

### □ 講演・事例発表

第1部では、計画情報研究所の安江代表取締役社長に「持続可能なまちづくりとみんなの役割」と題して基調講演を、さらに、先進的な取り組みや持続可能な取り組みを地域で実践しているまちづくり4団体に、これまでの活動内容などを発表していただきました。



▲ 講演・事例発表の様子

### □ ワークショップ

第2部のワークショップ「未来につなぐまちづくり～地域の資源を生かし次世代へ～」では、第1部で事例発表をしていただいた4団体とのグループ別座談会を行いました。



▲ ワークショップの様子

### □ 参加者の声

- ・SDGsの全てに取り組まなくても、地域の特性に応じて目標を選択して取り組む事が出来るのだと知った。
- ・すごく楽しかった。まちづくり団体の本音が聞ける機会はとても良い。まちづくりの意識が変わった。行政と住民の関係をもっと大切にしようと思った。
- ・事例発表後に、実際に討論できる場があり、とても良かった。また、興味のあるグループで討論できる仕組みが良かった。



▲ グループごとの集合写真

## 編集後記

今号より、石川県都市計画協会から記事を提供していただき、発行することとなりました。以前よりもリアルタイムでの情報発信に努める所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

編集協力：石川県（都市計画課）、金沢市、白山市、志賀町  
発行：公益財団法人 いしかわまちづくり技術センター  
TEL：076-239-1616 FAX：076-239-1606  
HP：<http://www.machisen.jp/> 発行日：令和元年9月